



天文資料

2026年 10月号

令和8年度 第7号 (10月号)

令和8年9月25日

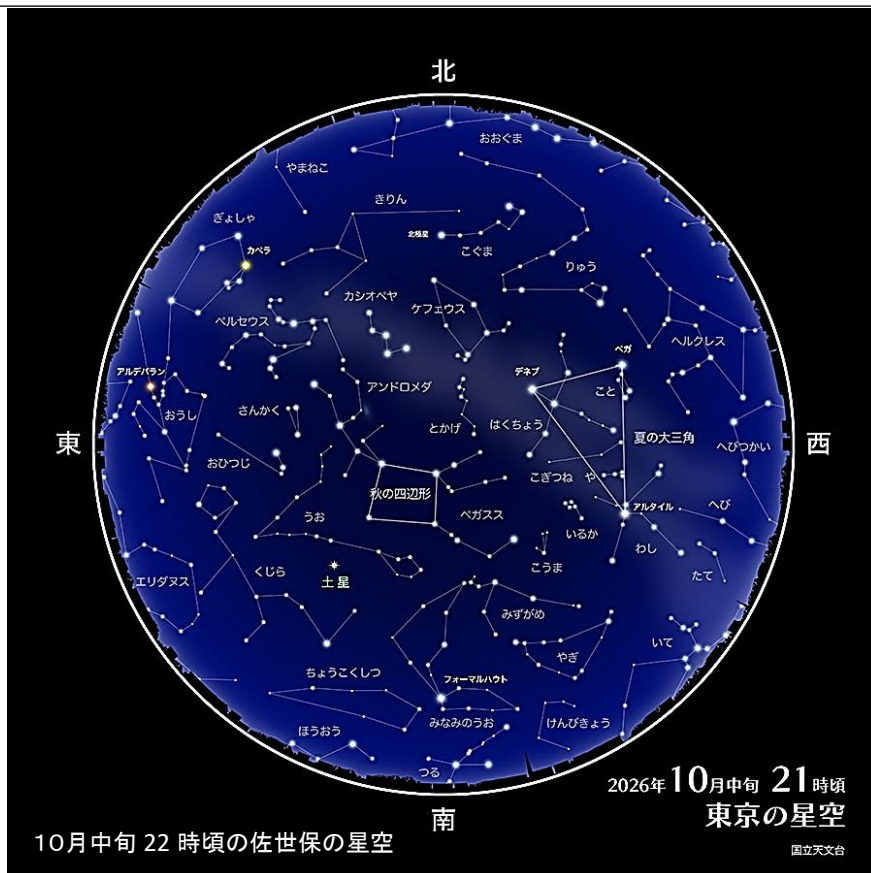
発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



<10月の星空>

10月前半の宵の空では、天頂近くから西の空にかけて、夏の星座がまだ姿をとどめています。このころ、東の空に控えている秋の星座たちは、10月後半になると宵の東から南の空にかけて見えるようになります。季節とともに、星座の顔ぶれも入れ替わっていきます。土星は10月4日に衝(しょう)となり、ほぼ一晩中観察が可能な見頃を迎えます。その土星には、月が10月24日に接近します。深夜から未明にかけて、東の空から火星と木星が昇ります。月は10月5日から7日にかけて、この2惑星に近づきます。



- ・2日 金星が留
- ・3日 下弦

- ・4日 土星が衝
- ・8日 寒露(太陽黄経195度)
- ・11日 新月
- ・12日 スポーツの日/水星が東方最大離角
- ・19日 上弦

- ・20日 土用の入り(太陽黄経207度)

- ・22日 オリオン座流星群が極大
(見頃は極大を中心とした前後数日間の夜半から未明。1時間に5~10個程度)

- ・23日 霜降(太陽黄経210度)

- ・24日 金星が内合/水星が留

- ・26日 満月

天体観望会のお知らせ 10月24日(土) 18:30~20:00 (10月10日受付開始)

見頃の天体 月、土星、夏・秋の星座

観覧料：小中学生150円、高校生以上320円

※当日が雨天、曇天の場合はプラネタリウムで星座解説を行います。